

特56

249

27



祭典略
附
祭文例

014073-000-3

特56-249

祭典略

藤原 朝臣宣降 / 著

M17

ABB-0329



皇學所講官

藤原朝臣宣隆著
賀茂經春縣主閱

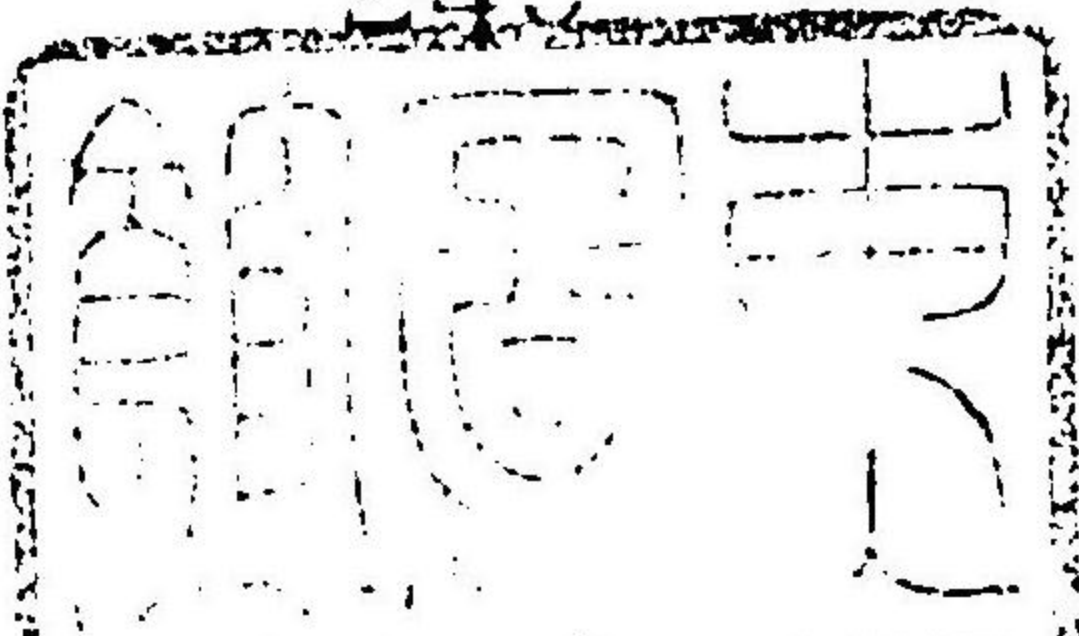
官許

祭典略

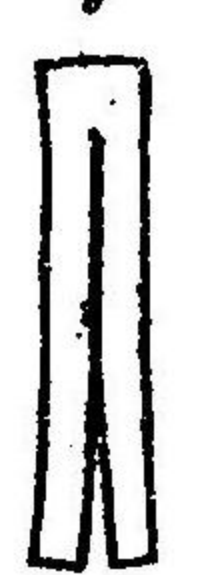
附 祭文例

平田塾藏版

特56
249



大正學法のまの書典よみ初りしやうり
こゝの冬より京よりさきま平田大人は
けいさくをなすふのこゝに大政をいし人の
てふしむう海に強やしてそと神祭のま
形をそのまのけいさくをいしはけいさく
すしを法海に神祭よまねるまをいしたる
まをいしむるまのたけいしむるまをい
そはけいさくのまをいしむるまをい

ル紙ト。細ク拆タル麻トヲ付タルナリ。其側ニ紙ヲ  如此裁
テ一尺餘ノ串ニ挾ミタル麻ヲ置ク。但シ神部數人アラバ。其員ニ合
セテ設クヘシ。

○次ニ大麻ノ前ニ。夕小案ヲ置キテ。幣ヲ獻ル料トス。

○次ニ祭主幣ヲ執リテ。座ニ著キ。一拜シ。幣ヲ小案ノ上ニ置キテ。
又一拜ス。神部ニナ然リ。幣ハ。榊ノ小枝ニ麻ヲ著タルカ。又ハ紙ヲ
帖ミテ。串ニ挾ミタルカ。心ニ任ス。但シ神部數人ニテ。自ラ幣ヲ獻リ
テハ。事ノ煩トナラバ。一人起テ。人々ノ持タル幣ヲ取り。一ツニ束
ネテ。獻リテモ宜シ。其時ニハ。手ヲ一ツ拍テ取り。渡シテモ手ヲ拍
ツナリ。

○次ニ再拜兩段トテ。扇ヲ持テ。四度拜ス。神部モ皆然リ。

○次ニ懷中ナル天津祝詞ヲ取出シ。コレヲ披キ。一拜シテ讀ム。讀
畢リテ。又一拜シ。祝詞ヲ本ノ如ク懷中ス。ゴノ天津祝詞ヲ白ス
間ハ。神部モナ平伏シテ有ルベシ。

○次ニ。夕。再拜兩段スル事。初ノ如シ。神部モ亦同シ。

○次ニ。八開手トテ。扇ヲ置キテ。手ヲハツ拍チ。扇ヲ取りテ。一拜
ス。神部モ亦コレニ同シ。

○次ニ。麻ヲ執リテ。祓給へ清給へト唱ヘナガラ。左右左ト我身ヲ
祓ヒ。息ヲ吹挂テ。庭上へ棄ルヲ。下部ノモノ拾ヒテ。川へ流ス。神
部オノク。然爲スベシ。此モ一人座ヲ起テ。麻ヲ皆持來リテ。神

部へ渡シテモ宜シ。時ニ從フベシ。其時ニハコレモ手ヲ拍チテ受取
レバ。渡シタル方ニテモ一ツ拍ツナリ。

○次ニ扇ヲ取り。一拜シテ。座ヲ起チ退下ス。神部ニナ同ジ。

○サテ下品ノ神人ア。タ有ルカ。又ハ參拜ノ人多キ時ナドニハ。
上ニ記セル行事竟リテ後。神前ヲ背ニ爲サシルヤウニ斜ニ坐シ
テ一拜シ。大祓詞ヲ讀ム。神部モ座ヲ改メテコレヲ聞キ。讀終リ
タル時。神部同音ニ稱唯シ。一拜シテ退出ス。ソレヨリ彼ノ大麻ヲ
取りテ。參拜ノ人マデ祓清ム。

○六月十二月晦ノ大祓モ上件ノ如シ。

○此書。タ祭文例ニ記セル諸祭。何レモ最初ニ此祓戸次第ヲ
修シテ後ニ。其祭ヲ行フ事。皆同ジト知ルベシ。仍テ一々其事ヲ
云ハズ。

神前次第

神供ノ品ドモハ。其社々ノ舊例アリ。又時ニ臨ミテ。土物ノ宜キヲ
獻ル事ナドモ有レバ。今ハ云ハズ。唯清潔ヲ專ニシテコレヲ調へ。獻
ル時ニハ。覆面ニテ。鼻口ヲ掩ヒ。一種ヲ獻ル毎ニ必ズ一拜スベシ。

○次ニ榊ノ枝ニ。麻ヲ著ケタル。太玉串ヲ取テ座ニ著キ。一拜シ。太
玉串ヲ案上ニ置キ。扇ヲ持テ。再拜兩段シ。懷中ノ祝詞ヲ取出シ。
一拜シテコレヲ讀ミ。竟リテ一拜シ。祝詞ヲ懷中シ。扇ヲ取テ。再拜
兩段シ。扇ヲ置テ。八關手ヲ拍チ。扇ヲ持テ一拜シ。座ヲ起テ退ク

事ナド。何レモ祓戸次第ノ如シ。又神部モ。祭主ト同ジク。太玉串
ヲ獻リ。再拜兩段ハ開手ヲ拍チ。祭主ノ祝詞ヲ白ス間ハ。同ニ
平伏スル事ドモ。皆祓戸ニ同ジ。此時ノ祝詞ハ。其祭ゴトニ替ル
ナリ。天津祝詞ト同ジカラズ。

○次ニ少時アリテ。供物ヲ撤ス。此時モ。一種ヲ撤スゴトニ必一
拜スベシ。

○次ニ便宜ノ所ニテ。神供神酒ヲ給ハル。コレヲ直會ト云ヒテ。神
事ノ竟トス。

○元日。月記節供。常祀。春祭。秋祭。祈雨。祈晴。同報賽ナド。皆斯ノ
如シ。故ニ一々コレヲ注セズ。又何レノ祭ニモ。七日。或ハ二夜三日。或

ハ一日一夜ノ神事ナド有リ。ミナ其社ノ古式ニ從フベシ。

宮地鎮謝祭

コレハ正殿ヲ始メ。拜殿門ノ類。及び人ノ家ヲ造ル時。其地ヲ守リ
給フ神ヲ祀ル行事ナリ。地鎮祭又ハ地祭トモ云フ。マヅ宮ニテモ。
家ニテモ。作ルベキ地ノ中央ニ竹ヲ四本立テ。注連繩ヲ張り。薦ヲ
鋪キ。高案ヲ居エ。幣ヲ安ニジテ。生井神。榮井神。綱長井神。阿須
波神。波比岐神ノ神座トス。此五柱神ヲ。座摩神ト白シテ。朝廷
ニテ。二月祈年祭。六月。十二月。月次祭ニ祀リ給フ事ニテ。其詞延
喜式ニ見エタルガ。此神等ノ敷坐ス地ニ天皇ノ大宮ヲ造リテ。
大ミシマスガ故ニ。此神ヲ祭り給フヨシナリ。是ニ擬ヒテ。神ノ宮

ヲ始メ人ノ家ヲ造ル時ニモ。此五柱神ヲ祭ル事ハ。云フモ更ナ
リ。人ノ家ニテハ。宅神竈神門神并神ト同ジク。毎年必祭ルベシ。
世ニ地主神。マタ地神ナド云ヒテ。宅地ノ乾ノ隅ニ有ル社。即コノ
座摩神ニテマセバ。其前ニテ。此祭ヲ行フベキ事ナリ。

○次ニ神座ノ前ニ。マタ案ヲ居テ。供物ヲ獻ル。供物ハ。飯餅。飴洗
米魚。海藻。野菜。酒醴ノ類何ニテモ。心ニ任ス。

○次ニ太玉串ヲ獻リ。再拜兩段シテ。祝詞ヲ白シ。又再拜兩段シ
テ。ハ開手ヲ拍ツ事ナド。皆上ニ記セル。神前次第ニ同ジ。終リテ。
供物ヲ撤シ。神座ト崇メタル幣ヲバ。然ルベキ地ニ納メ。直會ス
ベシ。

大殿祭

神ノ宮ニハ大殿祭ト云ヒ。人ノ家ニハ宅神祭ト云ヒテ。屋船豐
宇氣姫神屋船久。能智神ヲ祭ル。此ニ柱神ノ事ハ。延喜式ノ
大殿祭詞ニ委シク見ユ。又大嘗會ノ當日ニ。大殿宮ヲ祭ル事
アリ。是等ノ御式ニ擬ヒテ。遷宮ノ當日コレヲ行フ。

○正殿ノ大キナルハ。殿内ニテ行ヒ。小キハ階下ニテ行ヒ。自餘
ノ諸殿舍ハ。便宜ノ所ニ。神座ヲ設ケテ祭ル。供物ヨリ直會ニ至
ルマデ。凡テ上ニ記セル諸祭ノ如シ。

○此祭ハ。上ニ云ヘル如ク。遷宮ノ當日ニ記ル事ハ云フモ更ナ
リ。平常ニモ。下ニ記セル。御門祭ト共ニ。六月。十二月ニ必行フベ

シ。庶人ノ宅神祭モ亦同ジ。

遷宮

正殿ヲ造替ヘ。又ハ葺替ノ時假殿ニ遷奉ルヲ。假遷宮ト云ヒ。假殿ヨリ本ノ宮ヘ返奉ルヲ。正遷宮ト云フ。コノ假遷宮ヲ。今ノ世ニ外遷宮ト稱フ事。古書ニ見當ラヌ名目ナルガ。此ハ假ノ字ヲケト讀ムヨリ訛リテ。外ノ字ヲ用フル事トハ成レルナルベシ。サテ假遷宮。正遷宮トモニ。其行事ノ次第ニ於テハ異ル事无ケレバ。此一式ニテ。假正トモニ通用シテ宜シ。

○用度

大麻オホヌサ 一本 三尺餘ノ細キ榊ト。竹トヲ束ネテ。其末ニ。

麻ト紙トヲ著ル事。祓戸次第ニ注セルガ如シ。

鹽湯シホユ 一坏 大土器ニ湯ヲ盛リテ。鹽ヲ入レ。榊ノ葉ノニツ

ニツ付タル小枝ヲ載置ク。

白杖シロツツ 數不定 三尺計ノ梅ノ楯ナリ。

行障コウザウ 二張 絹或ハ麻布ニテ作ル。潤サハ三幅ヲ豎ニ縫

フ。長サ四尺位上ノ方ニ桁ヲ入レ。紐ヲ付ケテ。竿ニ繫グ。船

ノ帆ニ似タリ。

絹垣キヌカイ 一張 本儀ハ絹ナレドモ。略ニハ麻布ヲ用フ。潤サ

ハ三幅ニテ。幕ノ如ク縫フ。但シ物見ハ無シ。長サハ御羽車ノ

大小有無ニ從フ。乳ヲ多ク付ケテ。是ヲ矢筈ノ如ク削リ

タル竹ニ挾ミテ。數人ニテ擎持ツ。

御羽車 一具 御樋代ヲ載奉ル轆ナリ。御樋代大キナル時ニ用フ。小サクテ。一兩人ニテ頂キ奉ラル、時ニハ。御羽車ニ及バス。

敷布 一條 麻布一幅ナリ。長サハ。假殿ト正殿トノ間ノ路程ニ從フ。

薦 數不定 コレモ假正兩殿ノ間ヲ鋪亘ス。其外祓戸ヲ始メ。用途多ケレバ。數帖設ケオクベシ。

幌 燈臺 案 ナホ殿内御饒ノ裝束調度。及ビ諸般ノ用物數多アルベシ。

覆面 手袋 肩當 麻布ニテ作ル。御樋代ニ手ヲ觸レ。又

ハ御羽車ヲ舁モノ、用具ナリ。

木綿緞 麻一條ヲ用フ。コレモ御樋代ヲ頂クモノ、具ナリ。

遷宮當日。午未ノ刻ノ交ニ。御手洗川カ。又ハ庭上ニテ祓ヲ行フ。其儀初ニ記セル。祓戸次第ノ如ク。高案ニ幣ヲ立テ。祓戸四柱神ノ神座ト爲シ。其前ニ案數脚ヲ居テ。神寶ヲ始メ。上ニ記サル用物ヲ竝ベ載ス。

○次ニ又案ヲ居テ。大麻鹽湯ヲ置ク。祭主以下ノ獻ル幣ヲ。此案ニ置テモ宜シ。

○次ニ祭主及ビ神部等。各幣ヲ取テ列立ス。幣ノ事ハ上ニ云リ。

○次ニ祭主座ニ就テ幣ヲ案上ニ獻ル。神部皆著座ス。

○次ニ神部一人座ヲ起テ衆神部ノ持タル幣ヲ乞受ケ。束ネ持テ神前ニ獻ル。コレハ人々自ラ進ルベキ事ナレドモ煩雜ヲ厭

ヒテ如此爲ルナリ。此時手ヲ拍テ受取レバ投ケレ人モ亦手ヲ拍ツ

○次ニ祭主再拜兩段シテ天津祝詞ヲ白シ。又再拜兩段ハ開手ヲ拍チ。神部モ一同ニ稽首拍手スル事。上ニ記セルガ如シ。

○次ニ一人起テ大麻ヲ取り。神寶及ビ諸調度ニ向ヒ。祓給へ清給ヘト云ヒナガラ。左右左ト打祓ヒ。次ニ神部及ビ雜人ニ向ヒテ。又同ジク祓清ム。竟リテ大麻ヲ本ヘ返ス。

○次ニ又一人起テ鹽湯ヲ取り。榊葉ニテ灌グ事。大麻ノ所作

ニ同ジ。竟リテ各一拜退出ス。

○次ニ座ヲ改メテ。大祓詞ヲ讀ム。讀終ル時衆人同音ニ稱唯ス事ドモ。上ニ記セルガ如シ。如此テ退去シ。神寶以下ノ物ヲ社邊ノ便所ニ徙シ。遷宮ノ用意ヲ致ス。

前日ニ。正假兩殿ノ階下ノ柱ヲ始メ。渡御ノ路ナル殿門ノ柱。及ビ諸門ノ柱毎ニ。木綿著ケタル榊ヲ立ツ。木綿ハ紙ヲ四垂ニ裁タルナリ。

○當日酉刻。正假兩殿ノ前ヲ始メ。諸殿門ニ庭燎ヲ設ク。又兩殿ノ階上階下ニ燈臺ヲ立テ。火ヲ點ク。

○戌刻。兩殿ノ間ニ薦ヲ鋪ク。コレハ渡御ノ道ナリ。

○次ニ警蹕シロゾシ白杖オホヌサ大麻鹽湯ノ物ドモ。庭上ニ群候ス。

○次ニ雞鳴ノモノ。階下ノ座ニ就ク。

○次ニ行障絹垣敷布ノモノドモ。階下ノ左右ニ候ズ。

○次ニ祭主手扶召立御羽車ニ奉仕ノ者ドモヲ率ヒキ平來リテ。

階下ノ正面ニ坐シ。再拜兩段シテ。祝詞ヲ白ス。手扶以下平伏ス。

竟リテ又再拜兩段ス。八開手ハ無シ。祝詞モ微音ナリ。

○次ニ燈ヲ滅ス。

○次ニ祭主木綿纏覆面手袋ヲ著ケテ。昇殿ス。手扶以下コレ

ニ隨ヒ殿内ニ入り。慎ツシミテ御樋代ヲ御羽車ニ移シ奉ル。モニ御

羽車ヲ用ヒザル時ハ。御樋代ヲ頂キ奉リ。一ツ廻シテ。御樋代ノ

背ウシロヲ。吾身ノ方ニナス。御樋代ノ大小輕重ヲ。能々量リテ。御羽車ノ
有ア無ナ手扶ノ多少等。其程ヲ考ヘ。ユメク疎漏有ルベカラズ。尚心
ヲ用フベキ事多シ。其人ニ就テ習フベシ。

○次ニ召立ノモノ。階ノ中間ニ降りテ。雞鳴仕奉レト呼コトベバ。則末
廣扇二枚ヲ兩手ニ持テ。羽音ヲ擬イヒ。雞聲ヲ發ル事三度。

○次ニ絹垣ト呼ヨベハ。絹垣ノ兩端ヲ持タルモノ。階ノ左右ニ迫ヒリ。
中ヲ持タルモノハ。丸ク立竝ビテ。袋ノ如ク。絹垣ヲ張リテ立ツ。

○次ニ出御ト呼ヨブヲ聞テ。階上階下。一同ニ肅然タリ。

○次ニ御樋代。絹垣ノ中ニ入り給ヘバ。絹垣ノモノ。一齊ニ左ヨリ右
へ廻リテ。前ニテ行逢ユキヒ。兩端ヲ合セテ。高く捧サグ。内ノ見エザルヤウ

二圍ム。

○次ニ行障ノモノ。絹垣ノ左右ヨリ。高く撃グ。

○次ニ敷布ノモノ一人。前ヨリ布ヲ鋪ケバ。御樋代ノ進ムニ從ヒ。一人後ヨリコレヲ捲テ。他人ニ踏マザラシム。

○次ニ警蹕ノモノ。聲ヲ揚ゲテ。前驅スレバ自餘ノモノ列ヲ正シテコレニ從フ。

○行列

警蹕 人數不定 神枝ヲ執テ。二行ニ列リ。ヲ、ト微音ニ呼ナガラ徐歩ス。但シ出御ノ時ト。途中ト。入御ト。三度ニ三聲ヅナリ。

白杖 人數不定 左右ニ列歩ス。

鹽湯 一人 神葉ニテ灌ギナガラ行ク。

大麻 一人 左右ヘ打振リナガラ行ク。

絹垣 内ニ御樋代アリ。前後ニ敷布ノモノアリ。左右ニ行障アリ。

神寶 渡御ニ供奉スル事便悪クハ。鎮御ノ後ニ運ブベシ。

後取 事ニ馴タルモノ三四人。前後ヲ監視ス。此次ニ祭主以下。神部ノ召具等群行ス。

○御樋代殿前ニ到レバ。警蹕。白杖ハ。左右ニ平伏ス。大麻。鹽湯ハ。殿内。殿外ヲ祓清メテ後。便所ニ跪居ス。

○既ニシテ階下ニ近ヅケバ。絹垣ノ兩端ヲ開キテ。御樋代ノ出御ニ障リ無カラシム。

○是ヨリ先。一人豫メ階上ニアリ。此ニ至リテ。戸ヲ開キ。幌ヲ褰グ。

○鎮御 祭主手扶心ヲ静メテ。御樋代ヲ安ニシ奉リ。幌ヲ垂レ

テ一拜シ。階ヲ下リ。座ニ就テ。手次覆面手袋ヲ脱リ。又一拜ス。

○御火ノモノ。此モ豫メ階上ニ有リ。幌ヲ垂ル。ヲ見テ。火ヲ燧出

レ。階上階下ヲ始メ。諸殿門ニ燈ヲ點ク。

○供物ヲ獻ル。其品物ハ既ニ云ヘルガ如ク。各社ノ舊式ニ從フ。

○祭主以下。神人一同。太玉串ヲ獻リ。畢リテ再拜兩段。祭王

祝詞ヲ白シ。又再拜兩段。八開手ヲ拍ツ。神部モ亦。稽首拍手ス

ル事。上ノ條ノ如シ。一同退去。

○暫時有リテ。供物ヲ撤シ。戸ヲ闔テ後直會ス。

○上ニ云ヘルガ如ク。假正ノ遷宮。其式ハ替ラザレドモ。供物ノ多少

行糞ノ盛否ハ。自ラ異ナルベシ。

○祭主ハ。官爵ノ有無ニ從ヒ。袍或ハ淨衣ノ上ニ。明衣ヲ著ス。又

ハ明衣ヲ用ヒズレテ。齋服。淨衣ノ。深ズ彩ラザル物ノ。新清ナル

ヲモ用フベシ。

同略式

小社ニテ。神部モ無ク。假ノ役人ナドヲ使ヒテ。遷宮爲ル時ニハ。上ノ如クハ行ヒ。疋キ事モ有レバ。略式ヲ記スコト左ノ如シ。

○祓戸ノ行事ハ常ノ如シ。

○殿門ノ柱ニ柵ヲ立庭燎ヲ設ケ。兩殿ノ間ニ薦ヲ鋪ク事ナド。上ニ記セルガ如シ。

○兩殿ノ間ニ幕ヲ張ル。モシ幕無クハ假ニ板垣ヲ結ベシ。

又ハ短キ幕ノ類ヲ。絹垣ニ假用ヒテモ宜シ。但シ餘リニ古クテ。垢著タル品ナドハ用フベカラズ。

○祭主手扶一兩人ヲ率テ。階下ニ來リ。再拜兩段。微音ニテ祝詞ヲ白シ。終リテ又再拜兩段ス。ハ開手ハ無シ。此間手扶平伏スル事上ノ如シ。手扶無クトモ。事足りナバ。然テ有ルベシ。

○次ニ燈ヲ滅ス。

○次ニ祭主木綿繩覆面手袋ヲ著テ昇殿シ。御樋代ヲ頂キ奉ル事ナド上ノ如シ。

○次ニ絹垣ヲ用フル時ニハ。上ニ記セルガ如ク爲スベシ。

○次ニ兩殿ノ間遠クシテ。敷布ヲ用フル事成難クハ。形バカリノ布ヲ。兩殿ノ階ヨリ上ヘ敷クベシ。ナホ遠クシテ。薦ヲサヘモ敷カヌル時ニハ。祭主一人新シキ履物ヲ用ヒテモ宜シ。サレド是ハ至極ノ略儀ナリ。

○行列

警蹕

二人 一人ニテモ宜シ。

白杖

二人 無クテモヨロシ。

鹽湯 一人 上ニ記セルガ如シ。

大麻 一人 右ニ同シ。此鹽湯。大麻ハ必ズ有ルベシ。略ス

ベカラズ。

御樋代 祭主コレヲ奉仕ス。

後取 一兩人。

○御樋代既ニ前殿ニ到レバ。警蹕。白杖ハ左右ニ平伏シ。鹽湯。大
麻ハ。正殿ノ内外ヲ祓ヒ清メテ後。便所ニ跪居ス。

○祭主御樋代ヲ納メ。幌ヲ垂レテ。一拜シ。階ヲ下リ。座ニ著キ。
木綿繩等ヲ脱リテ。又一拜ス。

○燈ヲ點ケ。供物。及ビ。玉串ヲ獻リ。再拜兩段。祝詞。マタ再拜兩

段。ハ開手。竟リテ退出シ。再昇殿シテ。供物ヲ撤シ。戸ヲ閉ル事ナ
ド。皆上ニ記セルヲ。熟ク讀見テ。コレヲ行フベシ。

御門祭

御門。マタ鳥居ヲ。新シク作りタル時ハ。云フニ及バズ。平常ニモ大
殿祭ノ日ニ。コレヲ祭ル。御門。鳥居ナドノ下ニテ祭ル事。上ニ記
セル諸祭ニ同シ。豊石間戸神。櫛石間戸神ト白ス神ヲ。門ノ左右
ニ祭ル。此ハモト一神ナルヲ。門ニ祭ル時ニハ。二ツノ御名ヲ。左右ニ
分ケテ祭ルナリ。コレモ朝廷ノ御門ニテ。祀リ給フ。御式ニ倣ヒ
テ。神ノ御門。及ビ庶人ノ門ニテモ祭ル事ナリ。

井神祭

神ノ井。人ノ井トモニ。彌都波能賣神。御井神。鳴雷神ヲ祭ル。彌都波能賣神ハ。水神ナリ。御井神ハ。御名ニ負坐ルガ如シ。鳴雷神ハ。朝廷ノ主水司ニテ祀リ給フ神ナレバ。其ニ擬ヘリ。祭式ハ。上ニ記セル祭ドモノ如シ。井ノ前ニテ祭ル。モシ井無クハ。日ニ水ヲ用フ所ニテ祭ルベシ。

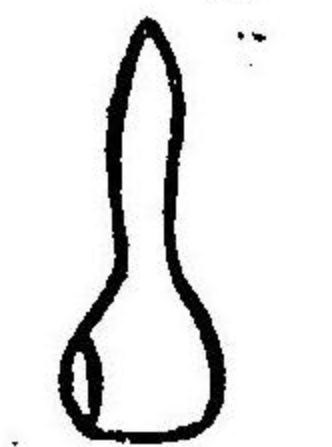
竈神祭

神饌ヲ炊ク竈ヲ始メ。人ノ家ニテモ同ジク祭ル。其神ハ。齋火産靈神。奥津比古神。奥津比賣神。合セテ三柱神ナリ。齋火産靈神ハ。朝廷ノ大炊寮ニテ祭リ給フ神ニ坐ス。奥津比古神。奥津比賣神ハ。古事記ニ諸人之持伊都久竈神也トアリ。此文ニテ古

昔ハ。此二柱神ヲ。家毎ニ齋祀リシ事。灼然シ。サルヲ世ニ。三寶荒神ト云フ。天竺ノ物ヲ祭ルハ。竈ヲ穢ス所爲ニテ。イトク可畏キ事ナレバ。早ク此三神ニ祭リ替フベシ。其式ハ。上ニ記セル諸祭ノ如ク。竈ノ前ニテ行フ。サテ上ニ記セル。宅神。門神。座摩神。竈神ハ。家毎ニ必ズ祭リテ。日ニ被ル恩頼ノ片端ヲ謝白シ。ナホ往前モ。守リ給ハム事ヲ祈ルベキナリ。

鎮火祭

火災ノ恐有ル時。火之辺具土神ヲ祭ル。其ハ神座ヲ設ケ。其ノ前ニ案ヲ居マテ。水瓢。土川菜ヲ。清ク大キナル器ニ盛リテ。竝ベ置キ。御酒。御饌。太玉串ヲ獻ル事。常ノ如シ。瓢ハ。尻ノ方ヲ少シ

切テ。水ヲ汲ムベク爲ス。鶴首ト云フ形ナレバ。殊ニ宜シ。
川菜ハ。能ク水ヲ含ム物ニテ。植木ノ根ヲ絡キテ。遠方へ送り
ナド爲ル苔ナリ。竟リテ此四種ノ物ヲバ。家ノ内ノ清キ所ニ齋
ヒ置クベシ。

清祓

宮地宅地又ハ一郷ニテモ。穢レタル時ニ行フ。其ハ卷首ナル祓戸
次第ヲ修レテ後大麻ニテ。其穢レタル家ニテモ里ニテモ。祓清メテ
後。大麻ヲバ川へ流スナリ。

祈禱病

疫癘其外ノ病。大ニ行ハル。時コレヲ行フ。但シ。隣里ニ有リテ。其

里ニハイマダ無キト。既ニ其里ニ有ルトニテ。祝詞異ナリ。

○時行病ノ烈キ時。假ニ宮ヲ造リ。或ハ神輿ヲ飾リテ。大名牟
遲神。少名毗古那神ヲ招奉リテ。齋祀ル事。古書ニ例有リ。

○土地ニヨリテハ。須佐之男命ヲ招奉リテ。祀ル事有リ。此ハ備後
風土記ノ故事ニ依リタルニテ。多クハ山城國愛宕郡。八坂神社。尾
張國海西郡津嶋神社ナドノ符ヲ受來リテ祭ル事ナリ。ナホ因ニ
ヨリテ。祭ル社外ニモ有ベシ。又此神ヲ祭リテハ。茅ノ葉ヲ縮ネテ。
小キ輪ト作シ。入毎ニ佩シムルナリ。

○病者ヨリ。頼來レル時ニハ。己ガ奉仕神ニ祈ルナリ。

○以上オノノ祝詞ハ替レドモ。祭式ハ皆常ノ如シ。

障神祭

他郷ニ流行病ヲ始メ。禍事有ル時。吾里へ入レジトテ。村境ニテ。ハ
衢比古神ハ衢比賣神久那斗神ヲ祀ルナリ。此三神ヲ障神ト白
ス。東固ニテハ。サイノカミト唱ヘテ。村里ノ境ニ。ホヲ殖或ハ石ヲ
建タル所アリ。コレ此神ノシマス所ナレバ。常ニコレヲ齋祀リ。臨時
ニ此祭ヲ爲サバ。則其所ニテ行フベシ。然ヤウノ所無クバ。清キ地
ヲ擇ビテ。注連繩ヲ張り。神座ヲ設ケテ祀ルナリ。其式ハ替ル事
ナシ。

新始祭

是ヨリ下。柱立棟祭マデ。合セテ三條ハ。三ナエ匠ノ祭ルベキ

事ナレドモ。時ニヨリテハ神人ノ行フ事モ有レバ。其祭式ヲ記セリ。
○新始トハ。宮ニテモ。家ニテモ。作始ムル時ノ祭ナリ。其ハ先。工作
場近キ所ニ。竹ヲ立注連繩ヲ張り。薦ヲ敷キ。高案ヲ居エ。幣ヲ
安ンジテ。手置帆負命彦狹知命ノ神座ト爲シテ。コレヲ祭ル。此
ニ柱神ハ高天原ニシテ。天照大御神ノ大宮ヲ。造リ給ヒシ神ナレ
バ。エ匠等。ソノ神恩ヲ蒙リテ。違過ツ事无ク。作り終ヘン事ヲ祈
白スナリ。然ルヲ田舎ノ諸工人等。聖德太子ヲ祭ルハ。イトク謂
ナキ事ナレバ。早ク此ニ柱神ニ。祭り替フベシ。

○神座ノ前ニ。神供。神酒。太玉串ヲ獻ル料ノ案ヲ居エ。祭主ノ
座ヲ鋪キ。其所ヨリ二三丈モ離レタル所ニ。柱ニ作ルベキ材ヲ置

キ。其側ニ釘一ロヲ物ニ載セ置キ。工匠其前ニ蹲居ス。工匠數人ナラハ。釘ヲ其員ニ合セテ置クベシ。

○次ニ供物。太玉串。再拜兩段。祝詞。再拜兩段。八開手ナド。總テ替ル事ナシ。

○次ニ工匠座ヲ起チ。神前ヲ拜シ。釘ヲ執リテ。木ノ本中末ヲ。三遍ツ、削リ。釘ヲ本ノ所ニ置キ。一拜シテ退去ス。次々ノ工等ミナ然リ。

○竟リテ供物ヲ撤シ幣ヲ納メ直會ス。

柱立

コレハ柱ヲ建始ムル時ノ祭ナリ。マツ宮ニテモ。家ニテモ。中央ノ柱

ヲ一本立テ。ソノ四方ニ竹ヲ立。注連繩ヲ張り。神座ヲ設ケテ。手置帆負命彦狹知命ヲ祭り。此神ノ恩賴ニ依リテ。法ノ如ク。建終シメ給ヘト祈ルナリ。中央ノ柱便惡クバ。春ハ東。夏ハ南。秋ハ西。冬ハ北ノ柱ヲ一本立テ。其前ニテ祭ルベシ。

○供物以下。上ニ同ジ。工匠ミナ列居スベシ。

○次ニ直會竟リテ。工人等建始ムルナリ。

棟祭

棟材ヲ引上ル時行スベキ事ナレドモ。多クハ既ニ屋之上ヲ葺終リテ後祭ルナリ。

○屋脊ニ棚ヲ架ヒ。神座ヲ設ケテ。手置帆負命彦狹知命ヲ

神ニ申す初ハ何事ナクも程
何事ナクも程
何事ナクも程
何事ナクも程
何事ナクも程
何事ナクも程
何事ナクも程

皇代らるる人なりきと書し
きと神のまゝに記し
きと人なりと記し
これ藤原道隆のまゝに記し
きと人なりと記し
きと人なりと記し
きと人なりと記し
きと人なりと記し

下りの金と人なりと記し
きと人なりと記し
きと人なりと記し
きと人なりと記し
きと人なりと記し
きと人なりと記し
きと人なりと記し
きと人なりと記し
きと人なりと記し
きと人なりと記し

明治二年三月

賀茂大神宮に於ての御祭賀茂經春

祭文例

從五位下藤原朝臣宣隆撰

正四位下賀茂縣主經春閱

元日

挂^{カケ}毛^モ恐^{カレ}伎^キ吾^ワ大神^{カミ}能^ノ大^{オホ}前^{マヘ}余^ニ恐^{カレ}美^ミ恐^{カレ}美^ミ母^モ白^{ハク}久^ク新^ニ伎^キ

年^{トシ}能^ノ新^{アラタ}伎^キ月^{ツキ}能^ノ新^{アラタ}伎^キ日^ヒ能^ノ朝^{アサ}日^ヒ能^ノ豐^{トヨ}榮^{サカ}登^ノ余^ニ拜^{ウラガヒ}氏^{ツカヘ}仕^シ

奉^{マツル}流^ル大^{オホ}御^ミ饌^ケ大^{オホ}御^ミ酒^{サケ}袁^ヲ皇^{スメ}神^{ガミ}能^ノ御^ミ心^{ココロ}余^ニ平^{ヒラ}久^ク安^{ヤス}久^ク赤^{アカ}

丹能穗ニホ 余ニ 聞食キコシメセ 登ト 白須ハラス 如此仕奉カクツカヘニツル 余ニ 依氏ヨリテ 令母イマモ 往前ユクサキ
 母モ 皇御孫命スメミマノミトノ 能ノ 御世ミヨ 衰ヲ 手長タナガ 能ノ 大御世オホミヨ 登ト 湯津石村ユツイハムラ
 能ノ 如ゴトク 伊波比イハヒ 依ヨ 佐斯奉サシマツリ 理リ 茂御世イカシミヨ 能ノ 足御世タラシミヨ 余ニ 福サキ
 閉奉理ヘマツリ 仕奉流ツカヘマツル 親王諸王諸臣百官人等ミコタチオホキミタチヘハキミタチモノツカサタヒトタチヲイヤタカニ
 彌廣イヤヒロ 余ニ 伊加斯イカカシ 八桑枝ヤガハエ 能ノ 如ゴトク 久ク 令立タチサカエシメタニ 榮給ヒ 比ヒ 天下泰アメノシタタヒ
 平ラカニ 余ニ 公民等オホミタカラ 衰ヲ 守給モリタマヒ 比ヒ 惠給メクミタマヘ 閉ト 登ト 恐美カシヨミ 恐美カシヨミ 母モ 白マ 久ク 神那カシヨミ
 竟奉ラヘマツラク 久ク 登ト 白マ

月祀

旬日或ハ朔望ノ類ヲ云フ

挂母カケクモ 恐カシヨキ 伎ワガ 吾皇神ガスメガミ 能ノ 大前オホマヘ 余ニ 恐美カシヨミ 恐美カシヨミ 母モ 白マ 久ク 神那カシヨミ
 賀良母ガラモ 皇御孫命スメミマノミトノ 能ノ 手長タナガ 能ノ 大御世オホミヨ 衰ヲ 堅石カキハ 余ニ 常石トキハ
 余ニ 齋奉イハヒマツリ 理リ 茂御世イカシミヨ 余ニ 幸奉サキハマツ 理リ 氏テ 萬世ヨロゾヨ 余ニ 大座坐オホマシマサシ 斯米シメ
 給比タマヒ 仕奉流ツカヘマツル 親王等王等臣等ミコタチオホキミタチマツキミタチヲサキミタチヲ 衰ヲ 幸サキ 久ク 平ヒラ 久ク 守給モリタマヒ 比ヒ
 惠給メクミタマ 比ヒ 大神オホカミ 能ノ 氏子ウヂコ 衰ヲ 始ハジ 氏メテ 天下カノノシタ 能ノ 百姓オホミタカラヲ 衰ヲ 廣ヒロク 久ク 厚アツ
 久ク 撫給ナデタマ 比ヒ 助給タスケタマ 比ヒ 取作トリツク 流ル 穀等タナツモノトモヲ 衰ヲ 八束穗ヤツカホ 能ノ 茂穗イカシホ 余ニ

成幸給ナレサキハタマヘ閉ト登カシ恐カシ美カシ恐カシ美モ母マ白ス

節供

正月七日三月三日ノ類ヲ云フ

挂母恐カケクモカシキ伎ワガ吾大神能オホカミ大前オホマヘ白シラサク久トシノハ每年ニケフ今日能吉ヨキ

日ヒ余ニ仕奉ツカヘマツ流ル大御饌大御酒オホミケオホミキ袁ヲ平久タヒシケク安久ヤスシケク聞食キコシメセ登ト白マラス

如此仕奉カクツカヘマツル余ニ依ヨリ氏テ天皇スメラ賀ガ御世ミヨ袁ヲ手長タナガ能ノ御世ミヨ登ト堅カキ

石ハ余ニ常石トキハ余ニ齋奉イヒマツリ理リ伊加イカ斯ス御世ミヨ余ニ幸奉サキハマツリ理リ阿禮坐カレマサ

皇子等ミコタチ袁ヲ慈美メグミ給タマ比ヒ百官人等モノツカサノトタチ天下カメノシタ四方ヨモノクニ固ニ能ノ

百姓オホミタカラ余ニ至イタル流麻ルマ傳デ平久タヒシケク永ナガク守惠モリメグ麻比マヒ幸給サキハタマ閉ヘ登ト恐カシ

美ミ恐カシ美ミ母モ白マラス

常祀

一年一度又祭ハ春秋ヲ云ハ

挂母恐カケクモカシキ伎ワガ吾皇神能オホミカミ大前オホマヘ余ニ恐カシ美カシ恐カシ美モ母マ白マラス久トシノハ八十ヤツ

日日波カビハ雖有今日能生日能足日アレドモケフノイクヒノタルヒニ余ニ姓名往水能清ナニガシユクミツノキヨ

伎河瀬キカハセ余ニ海ウミ波ナ能レ身ミ條ツギ祓ハラヒ斯シ伊豆能真イヅノマ

屋余忌籠ヤニイニコモ理リ氏テ大前余宇豆能幣帛袁横山能如久オホマヘニウヅノミテグラヲヨコヤマノゴトク

置高成氏オキタカナレテ恐美カレコミ恐美カレコミ母モ稱辭竟奉タヘゴトヲヘツラク久ク登ト白ラス如此仕奉カクツカヘツル

事コト皇神スメガミ能ノ御心ミココロ余ニ平久タヒラケク安久マシラケク聞食キコシメシテ氏イ今イマ母モ以往ユクサキ母モ

皇御孫命スメミマノミコト能ノ手長タナガ能ノ大御世オホミヨ袁ヲ堅石カキハ余ニ常石トキハ余ニ齋イハ比ヒ

依斯奉足ヨサシツリタラ斯シ御世ミヨ能ノ茂斯イカシ御世ミヨ余ニ幸サキハ開奉ヘツリ理リ氏テ天地アメツチ

日月登供ヒツキトモ余ニ平久タヒラケク長久ナガク大座坐オホマシ之シ米メ給タメ比ヒ親王諸王ミコタチオホキミタチ

諸臣百官人等スツキミタチモツツカシヒトタチ袁母ヲモ夜能守日ヨノヨリヒ能守ノヨリ余ニ守給モリタメ比ヒ氏テ皇タラ

賀朝廷ガミカド余ニ彌高イマタカ余ニ彌廣イマヒロ余ニ伊加斯イカシヤ夜具波延ヤグハエ能ノ如ゴトク久ク

立榮タチサカ氏テ令仕奉給ツカヘツラレタメ比ヒ大神オホカミ能ノ氏子ウヂコ袁始ヲハジメテ氏イ天下四方アメノシタヨモノ

国能クニ公民オホミタカラ余ニ至流イタル麻傳マデ平久タヒラケク安久ヤスラケク護給モリタメ比ヒ惠タメ比ヒ給タメ比ヒ

根固底固ネノクニソコクニ從理ヨリ疎備荒備ウツビアラビ來牟コム枉津日マガツヒ登云神トイフカミ能ノ枉ガ

事有世受コトアラセ作食ツクリタケル穀物等クナツモノドモ袁豐ヲニタカニム牟久佐加ムクサカ余ニ令得エシメ

給閉登タニヘト鹿自物カグジモノ膝折伏ヒザフリフ世セ鵜自物ウジモノ頸根突拔ウチネツキヌキ氏イ恐美カレコミ

恐美母カレコミモ白ラス

辭別コトワケ氏イ白ラス久ク如此仕奉事カクツカヘツルコト能漏落牟事ノモレオチムコト乎ヤ婆バ神直日カムナホヒ

大直日オホナホ 見直ミナホ 斯聞直シキナホ 斯坐シマ 世登セト 恐美カシヨミ 恐美母カシヨミモ 白ヲス

春祭

五穀イハ 豐饒ユル 祈年ヲ祈ルニ 祈年ナリ 今年今年ノ

挂母恐伎ウケモ 吾大神能大前ウケモオホカミ 恐美カシヨミ 恐美母カシヨミモ 白ヲス 久キウ 大神オホカミ

袁ウラ 今日能吉日ケフノヨキヒ 称辭竟奉ナヘゴトヲハヘツ 良久ラキウ 波ハ 大神能氏子オホカミノウヂコ 袁ウラ

始シメテ 氏ウヂ 四方圀能百姓等モノクニノオホシラカラガ 贺手肱ガタチヒヂ 水沫搔垂向股ミチワカキタレムカモ 余ニ

泥搔寄ヒヂカキヨセ 氏ウヂ 取作良トリツクラム 奥津御年オクツミトシ 袁ウラ 惡風荒水ワシキカセカラキミツ 余ニ 令相オノカハセ

給波受タマハズ 八束穗能茂穗ヤツカホノイカシホ 成幸ナレサキハ 給比タマヒ 陸田種子等ハタツモノドモ

甘菜辛菜アマナカラナ 余ニ 至流麻イタルマ 傳不成傷布事无テナラズソコナク 久キウ 彌榮イヤサカエ 余ニ 令サカエ

榮給比シメタマヒ 彌足イヤタラヒ 余ニ 令足給タラハシメタマヘト 大前オホマヘ 余ニ 御食御酒居ミケミシユスエ

竝稱辭竟奉ナヘゴトヲハヘツラク 久キウ 登ト 白挂母恐伎ヲスウケモカシヨミ 大神祈白オホカミノシマラ 須母スモ 驗シルク 久キウ

神隨成幸カムタカラナシサキハ 閉給波婆ヘタマハバ 初穗ハツホ 袁婆ウラバ 秋祭アキノツリ 余ニ 獻年登タマツラムト 恐美カシヨミ

恐美母カシヨミモ 白給ヲシタマハク 久キウ 登ト 白ヲス

秋祭

穀イハ 獻ユル 且新嘗リ且新嘗ヲ 今年今年ノ 新新

挂母恐伎ウケモ 吾大神能大前ウケモオホカミ 恐美カシヨミ 恐美母カシヨミモ 白ヲス 久キウ 大神オホカミ

能^ノ成^ニ幸^ハ閉^ヘ給^タ幣^ル流^ル今年^{コト}能^シ焠^ノ能^ハ初^ハ穗^ホ以^テ氏^ニ新^ニ嘗^ハ仕^ヘ奉^ル

登^ト爲^シ氏^テ進^ム流^ル此^{コノ}大^{オホ}御^ミ膳^ケ袁^ヲ平^タ久^ク安^ク久^ク赤^{アカ}丹^ニ能^ノ穗^ホ氏^ニ聞^キ

食^メ登^ト白^{ラス}如^ク此^{ツカ}仕^ヘ奉^ル尔^ニ依^リ氏^テ今^{イマ}母^モ今^{イマ}母^モ皇^ス孫^マ命^ノ袁^ヲ堅^カ石^キ

尔^ニ常^ト石^キ尔^ニ護^マ奉^ル理^リ幸^ハ奉^ル理^リ天^{アメノ}下^{シタ}能^ノ公^{オホ}民^{ミタカラ}袁^ヲ夜^ヨ守^リ日^ヒ守^リ

尔^ニ守^リ幸^ハ閉^ヘ給^タ比^ヒ此^{コノ}里^{サト}尔^ニ諸^{モロクノ}能^{マカ}枉^{コト}事^{ナク}无^ク久^ク家^{イヘク}々^{ツギ}給^タ足^ラ比^ヒ

人^{ヒト}々^{トク}和^ニ備^ヒ睦^{ムツ}備^ビ氏^テ子^ウ孫^ミ能^ノ八^ヤ十^ソ連^ツ屬^ミ尔^ニ至^{イタル}流^ル麻^マ傳^デ如^{イカシ}

茂^{ヤグ}八^ハ桑^{ハエ}枝^ノ令^{ゴトク}立^{タチ}榮^{サカ}給^ヘ開^ト登^{カシ}恐^コ美^ミ恐^コ美^ミ母^モ白^{ラス}

宮地鎮謝祭

挂^{カケ}母^{クモ}畏^{カシ}伎^キ生^{イク}井^キ神^ノ榮^{カニ}井^{サク}神^キ綱^ノ長^ツ井^チ神^キ阿^ア須^ス波^ハ神^{カニ}波^ハ比^ヒ

岐^ギ神^ノ乃^リ大^{オホ}前^{マヘ}尔^ニ恐^{カシ}々^ク毛^モ白^{ラス}久^ク皇^ス神^ガ等^ニ乃^リ敷^シ坐^{マス}此^{コノ}大^{オホ}宮^{ミヤ}

所^{ドコロ}乎^ヲ所^{ドコロ}入^イ乎^ヲ家^カ白^{ハク}ニ^ニス^ステ^テハ^ハ此^{コノ}家^カ今^{イマ}毛^モ往^{コク}前^{サキ}毛^モ彌^イ益^{ヤス}々^ク尔^ニ守^リ

幸^{サキ}給^ハ氏^テ千^チ代^ヨ万^{マン}代^{マン}毛^モ平^タ久^ク安^ク久^ク下^{シタ}動^ド美^ミ寄^{ヨリ}來^コ牟^ム地^チ震^キ

乃^ノ災^ナ无^ク久^ク大^{オホ}雨^{アメ}零^リ利^リ水^{ミツ}溢^{アフル}留^ル登^ト毛^モ大^{オホ}地^{ツチ}乃^ノ岩^{イハ}崩^{クエ}傷^{ソコ}布^フ

事^{コト}无^ク久^ク堅^カ石^キ尔^ニ常^ト石^キ尔^ニ守^リ給^タ幸^ハ給^タ幣^ル登^ト禮^レ代^{ダイ}乃^ノ幣^ヒ帛^{ヒョウ}

乎ヲ捧持サゲモチ氏テ恐美カシ恐美カシ母モ白ラス

大殿祭

假遷宮・正遷宮行トス

挂毛カケクモ畏カシ伎キ屋船ヤフネ句ク能智チノカミ神屋ヤフネ船トヨウ豐宇ケ氣カミ姬神カミ乃大ノオホ

前マヘ余ニ恐美カシ恐美カシ毛モ白テ久ク此大宮コノオホミヤ乎ヲ

家人ヲト家白ニテハ此

神カム隨守ナラモリ賜幸タマヒサキ賜ハタマヒテ氏オホ大宮地ニヤドコロ乃ノ家地ノ底津岩根ソコツイハネ乃極美ノキハミ

下津網根シタツツナ昆虫ネハフムシ乃災无ノイハナク高天原タカマノハラ波ハ青雲アラクモ乃霽ノタビ久ク極キハ

美天ミアメ乃血垂飛鳥ノチタリトフトリ乃災无ノイハナク築立ツキタテ多留タタル柱桁梁戸牖ハシラケタウハリト

乃錯比ノキカヒ動鳴事无ユルナナルコトナク打堅ウチカタメ多留タタル釘クギ乃緩比ノユルヒ取葺トリフ祈留ノケル

草乃カヤノ极或目キハ噪伎无ソギ久御床都比クミユカツヒ乃佐夜伎无ノサヤギナク家人家人ニノ

伎伊豆テハ都志都志乃佐夜伎无乃佐夜伎无久伊須久伊須平久安久守平久安久守

幸給幣登畏美畏美母白サキヘタマヘトカシミカシモラス

假遷宮本殿

大宮時假宮替へ遷奉ル葺換云ハト

挂母恐伎吾大神能大前介恐美恐美母白久天能挂母恐伎吾大神能大前介恐美恐美母白久天能

御蔭日能御蔭登隱理坐須此大宮能葺替間時上御蔭日能御蔭登隱理坐須此大宮能葺替間時上

五^ハ鞞^ハ流^ルヲ^ハ加^フ能^ト云^レシ^フ許^コ々^ハ良^ラ能^トレ^シキ^キ年^ヲ月^ヲ經^ヘ氏^テ自然^ニ朽^ク

損^ソ禮^ハ奴^ヌ流^ル衰^フ此^コ度^ノ新^タ久^ク
字^ヲ替^フ鞞^ノ替^トニ^ハ換^フ新^ク久^シノ^ニ仕^ス

奉^マ流^ル余^ニ依^ヨ氏^テ今^ケ日^フ能^コ今^コ夕^ヒ能^ノ吉^ヨ日^ノ能^ヨ吉^ヨ夜^ニ余^カ恐^カ美^カ恐^シ

美^ニ母^モ假^カ宮^リ余^ニ遷^ウ奉^ム年^ト登^ス須^コ此^ノ狀^ヲ衰^フ平^ク久^ク安^ク久^ク聞^ク食^ス氏^テ

神^カ隨^ム遷^ル幸^シ勢^ト登^ト禮^キ代^ヤ能^ジ幣^シ帛^テ衰^フ捧^サ持^グ氏^テ恐^カ美^カ恐^シ美^カ母^モ

稱^タ辭^ハ竟^フ奉^ム久^ク登^ト白^ス

同 假殿

挂^オ母^ホ恐^シ伎^シ吾^オ大神^ノ能^ク大^オ前^ホ余^ニ恐^シ美^カ恐^シ美^カ母^モ白^ク久^ク大^オ宮^ニ

造^ツ功^ク竟^フ鞞^ノ替^トノ^ニ時^ス白^スニ^ハ大^オ宮^ニ奉^ム良^ク年^ト日^ト麻^ハ傳^ハ波^ハ此^コ行^リ

宮^ミ衰^フ志^シ豆^シ宮^ニ登^ト神^カ隨^ム平^ク久^ク安^ク久^ク大^オ座^ニ坐^ス勢^ト登^ト恐^カ美^カ恐^シ

美^ニ母^モ白^ク

正遷宮假殿

本^サノ^ニ宮^ニ遷^ル云^リ坐^ス

挂^オ母^ホ恐^シ伎^シ吾^オ大神^ノ能^ク大^オ前^ホ余^ニ恐^シ美^カ恐^シ美^カ母^モ白^ク久^ク瑞^シ能^ク

御^ミ殿^ノ既^ニ余^ニ仕^ス奉^ム竟^フ奴^ヌ鞞^ノ替^トノ^ニ時^ス白^スニ^ハ大^オ宮^ニ是^コ余^ニ依^ヨ氏^テ

此某月某日能夜コソレノツキノイクカ夜ノヨ袁ヲ吉日能吉夜ヨキヒ能吉夜ヨキヨ登ト齋定イハヒタタテ氏恐美恐カシヨミカシヨ
美母返奉モカシツラム牟登須ムトス故如此能状袁大神能御心介平カレカクノサマヲオホカシノコノニ
久安久聞食氏神長柄還幸行勢登恐美恐美母白クヤスラケクキコシメシテカムナガラカヘリイデマセトカシヨミカシヨモ

同本殿

挂母恐伎吾大神能大前介恐美恐美母白久天之オホメノ
御蔭日之御蔭登造仕奉禮流ミカゲヒノミカゲトツクリツカヘマツレ奉替奉禮流ノ時ニハ葺替
瑞之御殿袁安宮能志豆官登故能如安久穩介鎮ミツノミカラカヲヤスマヤノシヅミヤトモトノゴトヤスクオホニシ

坐氏天皇賀朝廷袁堅石介常石介守奉理幸奉理マシテスメラガミカドヲカキハニトキハニモモリマツリサキハマツリ
天下平久惠賜比助賜閉登大御饌大御酒袁机物アマノシタタミケクメタマヒタスケタマヘトオホミケオホミキヲツクセシロ
尔置足波斯氏恐美恐美母稱辭竟奉良久登白ニオキタラハシテカシヨミカシヨモオクヘゴトヲヘマツラクト一ラス

祈雨尤祈早ルナ時ニ雨

挂母恐伎吾大神能大前介恐美恐美母白久此頃オホメノコノ
日麻泥久雨不零斯有禮婆公民能農業皆悉介被ヒマネクオメフラスシレバオホミタカラノナリハヒオミナコトクニカレ
枯損奴吾大神能蒼生袁惠美給布靈介依氏斯此ソコナエヌワガオホカシノアラヒトクサヲメグミタマフオミタマフクニヨリテレコノ

災波イハ可止ヤムベシ登ト恐カシ自物思議シモノオモヒカリテ氏ケ今日能フ生日能イクヒノ足日タルヒ能ニ。
 禮代キヤジロ能ノ幣帛ミテグラフ袁ヲ捧持サケモチテ氏カシ恐カシ美ミ恐カシ美ミ母モ稱辭タヘコト竟奉ヲヘマツ良久ラク。
 登ト白ラス故如此カレカク能ノ狀サマ袁ヲ平久タヒラケク安久ヤスラケク聞食キコシメシテ氏ケ甘雨ヨキアメ袁ヲ忽タチニ。
 令零給フラセタマヒ比ヒ氏テ百能モ、ノ穀草タチモノクサ能ノ片葉カキバ氏ニ至及イタル彌足イヤタラ比ヒ令ニ。
 足給ハセタマヒ比ヒ彌榮イヤサカス令榮給サカエシメタマヘ登ト恐カシ美ミ恐カシ美ミ母モ白給マラス波久ハク。
 登ト白マラス。
 祈晴晴霖雨ヲ祈ナ時リニ。

祈晴霖雨祈ナ時ニ

挂母恐伎ナガメハレ吾大神能カタクテ大前オホミタカラノ能ナリ大前ハヒ能オホカシ恐美ソコチハエヌ恐美ワカオホカシ母白ノ久頃日アツキタケニ。
 霖雨難晴ナガメハレカタクテ氏オホミタカラノ百姓能ナリハヒ農業流損オホカシソコチハエヌ奴ワカオホカシ吾大神能ノ厚助アツキタケニ。
 依ヨリ氏テ斯シ此灾波コノイハ可止ヤムベシ登ト恐カシ自物思議シモノオモヒカリテ氏ケ今日能フ生日イタヒ。
 能ニ足日タルヒ能ニ禮代キヤジロ能ノ幣帛ミテグラフ袁ヲ捧持サゲモチテ氏カシ恐カシ美ミ恐カシ美ミ母モ稱辭タヘゴト。
 竟奉ヲヘマツ流サマ狀ヲ袁タヒラケク平久ヤスラケク安久ヤスラケク聞食キコシメシテ白マラス如此仕奉ツカヘマツルニ依ヨリ氏テ。
 此霖雨忽晴コノナガメタチニレテ氏オホミタカラ等ガ賀タナヒダニ手肱ニ水沫搔垂ミナワカキタレ向股ムカモ能ニ。
 泥搔寄ヒヂカキヨセ氏テ取作トリツク流ル奥津御年オクツミトシ袁ヲ始ハジメテ氏ツクリツル作々物等モノドモ袁ヲ成ナシ。
 ○祭文例

傷波受豐年久佐加令得給開登恐美恐美母
白

同報賽 驗アリ祈シ晴ノヲ賽ナリテ靈

挂母恐伎吾大神能大前余恐美恐美母白久先余

甚斯伎早有 祈晴斯報賽白スハ霽雨 公民能農稼

枯年登為斯時吾大神能大前余雨令零 祈晴ハ報

令止シト白 給閉登祈白斯伎然流衰祈白斯々母驗

久甘雨令零 或ハ取 給幣流事衰貴備喜斯備謝能

幣帛衰捧持氏恐美恐美母稱辭竟奉良久衰平久

安久聞食登白

門神祭

挂母畏伎櫛磐牖神豐磐牖神能大前余恐美恐美

毛白久此御門余 門人余ト申ステハ此湯津磐村乃如

塞坐四方四角從利疎備荒備來天能麻我都

坐マシテ夜守日守ヒトモリニ守幸給モリサキヘタマヘ閉トキヤシロ禮代ノ幣帛ニテグラフ捧持ヲサゲモチ
氏テ恐カシニ々ク毛モ稱辭竟奉タヘゴトヲヘツラク久ト登白マラス

寵神祭

挂毛カケマカシキ畏イム伎ホム齋火武主比神奥都比古神奥都比賣神ヒノカミ。オキツヒ。コノカミ。オキツヒ。メノカミ
乃オホマヘニ大前カシニ余カシニ恐カシニ美モ恐マフク美ヒト毛モ白オチズ久ワカ一オホカニ日タチ毛オチズ不ワカ落オホカニ吾カニ大神等タチ
乃タカキ高タフト伎キ貴ニ伎ニ靈ニ貴ニ被カヅル流コト事ヲ袁タフト尊ニ美ウレシ喜ケ美フ今日ノ乃イク生日ヒ
乃タル足日ヒ余ニ禮代ニ乃ニ幣ニ袁ニ捧持ニ氏ニ稱辭竟奉ニ久ニ乎ニ平ニ久ニ

安久ヤスラク聞食キコシメ登ト白マラス如此仕奉カクツカヘツル余ニ依ヨリ氏テ今イマ毛モ今イマ毛モ家内ノ乃ノ
人ヒト諸我手モロクガテ乃ノ躅足カヒアシ乃ノ躅カヒ余ニ過犯ニ須事ス乃ノ在アラム乎ヲ婆バ神カム
直日大直日ナホビ余オホナホビ見直聞直坐ニ余ニ見直聞直坐ニ可畏テ伎カシニ火キ乃ヒ灾不令ワザヒアラセ
有夜守日守ズ余ヨノモリ守給幸給ヒノモリニ閉ト登カシニ恐カシニ美カシニ毛モ白マラス

祈漁獵

挂毛ソレノ畏ホリソレノ伎ムラ吾大神乃大前余ア恐マ美ナニガシ恐ガ美ア毛ゴ白ト久ノ某圀ヘテ
某郡某村乃海人何某ソレノ我ガ網子調ゴ氏ト引網ヒク余ア綿積ニ乃ニ

鱒乃廣物鱒乃狹物乃有乃盡漏事無久落事无久。

取得之米給比雨零風吹登母海幸違過都事无久。

守給比幸給開登禮代乃幣帛乎捧持氏恐々毛稱

辭竟奉久登白

祈出船

挂毛恐伎吾皇神乃大前余恐美恐美毛白久何某

伊今船出為氏某因某里余行牟登為乎吾皇神乃

高伎貴伎靈依氏行左來左乃海路余風浪乃愁

无久守給比幸給比氏平氣久加多良可余歸之給

幣登禮代乃幣乎捧持氏恐々毛稱辭竟奉久登白

同報賽

挂毛畏伎吾大神乃大前余畏美畏美毛白久先余

何某我某因某里余船出為流時吾大神乃靈余依

平久安久歸之給開登祈白伎然留乎祈白之

毛灼久シクワタツ海若ノ乃可畏カシコキ伎道ニチヲ都々ツ麻波マハ受ズ面變不為オモガハリセズ
之シテ氏ノ家ノ還著カヘリツカ之米シメ給タマ幣流ル事コト乎ヲ尊美喜タトミウレシ美禮代ミレシ乃イヤシロ

幣ヒ捧持サゲモチ氏ノ謝仕奉ヨロコビツカヘマツ良久ラク乎ヲ神隨聞食カムチカラキクシメサト登畏々カシヨミク毛白モマラス

難船報賽

挂毛畏モ伎ノ吾大神ニ乃大前ニ恐美恐美オモシ毛白モ久ク何某ナニガシ

伊先イ尔某海ニ乎涉留ヲ時暴風トキ尔逢アヒテ命危有イムチカヤカリシ之加カ婆バ

吾大神ワガオホカミ尔ニ助給オタスケタマ比ヒ救給スクヒタマ閉登ヘト祈白ノミマラシ之伎然キサルヲ乎ヲ祈白ノミマラシ之

之毛シ驗ル久ク助給オタスケタマ救給スクヒタマ幣流ル事コト乎ヲ貴美喜ウレシ之シ美禮代ミレシ乃ノ

幣乎ヒ捧持サゲモチ氏ノ謝仕奉ヨロコビツカヘマツ良久ラク乎ヲ平氣ヒラケ久ク安ヤスラクク聞召キコシメサト登恐カシヨミ

恐毛カシヨミモ曰マラス

船玉祭

船玉神フナダマノカミ登ト御名ミナ波白ハ氏ノ稱辭竟奉タマヘゴトヲヘマツ良久ラク波神隨ハカミチガラ毛吾モオカ

皇神スメガミ乃御靈賜ミタマクバ利リ氏ノ船上波牀フネノウヘハト尔居如ニヲホゴトク久ク水上波土ミツノウヘハ

乎行如ヲユクゴトク久ク撫給カタマ比ヒ惠給タマ比ヒ海積ワタツミ乃澳尔ノオキニ毛邊尔モヘニ毛可モカシ

恐^コ伎^キ風波^{カゼナミ} 尒^ニ逢^{アハ}世^セ給^{タマ}波^ハ受^ズ吾大神^{ワガオホカミ} 守^モ給^{タマ}比^ヒ幸^{サキ}給^{タマ}閉^ヘ登^ト
禮^{キヤジロ}代^ノ乃^ニ幣^{ヒラ}帛^ヲ乎^サ捧^サ持^チ氏^テ恐^{カシ}美^ミ恐^{カシ}美^ミ母^ホ稱^{タヘ}辭^ヘ竟^フ奉^{マツ}良^ラ久^ク
登^ト白^{ラス}

祈旅程

挂^{ナニ}毛^{ガレ}畏^レ伎^キ吾皇神^{ウケミカミ} 乃^ニ大前^{オホサキ}尒^ニ恐^{カシ}美^ミ恐^{カシ}美^ミ毛^モ白^シ久^ク何^{ナニ}某^{ガレ}
伊^イ今^{イマ}上^{ウヘ}道^{ミチ}爲^レ氏^テ某^{ナニ}因^ユ某^{ナニ}里^{サト}尒^ニ行^ユ牟^ム登^ト爲^ル乎^ヲ吾大神^{ワガオホカミ} 乃^ニ
高^{タカ}伎^キ貴^キ伎^キ恩^ニ賴^ユ尒^ニ依^{ヨリ}氏^テ往^{ユク}左^サ來^ク左^サ能^ノ路^{ミチ}乃^ハ聞^キ都^ツ々^ム牟^ム
高^{タカ}伎^キ貴^キ伎^キ恩^ニ賴^ユ尒^ニ依^{ヨリ}氏^テ往^{ユク}左^サ來^ク左^サ能^ノ路^{ミチ}乃^ハ聞^キ都^ツ々^ム牟^ム

事^{コト}无^ナ久^ク守^モ給^{タマ}比^ヒ幸^{サキ}給^{タマ}比^ヒ氏^テ平^{タヒラ}氣^ケ久^ク安^{ヤス}氣^ケ久^ク歸^{カヘ}之^レ給^{タマ}閉^ヘ
登^ト禮^レ代^{ヤジロ}乃^ニ幣^{ヒラ}乎^ヲ捧^サ持^チ氏^テ恐^{カシ}々^ム毛^モ稱^{タヘ}辭^ヘ竟^フ奉^{マツ}久^ク登^ト白^{ラス}

同報賽

挂^{ナニ}毛^{ガレ}畏^レ伎^キ吾大神^{ウケミカミ} 乃^ニ大前^{オホサキ}尒^ニ畏^レ美^ミ畏^レ美^ミ毛^モ白^シ久^ク先^{サキ}尒^ニ
何^{ナニ}某^{ガレ}我^ガ某^{ナニ}因^ユ某^{ナニ}里^{サト}尒^ニ旅^ツ立^ツ爲^ル留^ル時^{トキ}吾大神^{ウケミカミ} 乃^ニ恩^ニ賴^ユ尒^ニ
依^{ヨリ}氏^テ平^{タヒラ}氣^ケ久^ク安^{ヤス}氣^ケ久^ク歸^{カヘ}之^レ給^{タマ}閉^ヘ登^ト祈^{ノミ}白^シ之^レ伎^キ然^サ流^ル乎^ヲ
祈^{ノミ}白^シ之^レ毛^モ驗^ル久^ク道^{ミチ}乃^ハ長^{ナガ}手^テ乎^ヲ都^ツ々^ム麻^マ波^ハ受^ズ面^{オモ}變^カ不^セ

爲^ズ之^レ氏^テ。家^ニ爾^カ歸^リ。著^カ之^シ米^メ給^タ幣^ヘ流^ル事^ヲ乎[。]尊^ト美^シ喜^シ之^シ美^シ。
禮^ヨ仕^ツ奉^ク良^ク久^ク乎[。]神^カ隨^フ聞^ク食^ム世^ト登^ト禮^代乃[。]幣^乎捧^テ持^テ氏[。]
恐^カ美^シ恐^カ美^シ母^モ稱^タ辭^ヘ竟^ク奉^ク久^ク登^ト白^ス。

祈造酒

挂[。]毛[。]畏[。]伎[。]吾[。]大神[。]乃[。]大前[。]尔[。]恐[。]美[。]恐[。]美[。]毛[。]白[。]久[。]何[。]某[。]
我^ガ酒[。]釀[。]牟[。]業[。]尔[。]吾[。]大神[。]神[。]長[。]柄[。]高[。]伎[。]貴[。]伎[。]恩[。]賴[。]乎[。]幸[。]
閉^ヘ坐[。]氏[。]朝[。]夕[。]尔[。]緩[。]事[。]无[。]久[。]怠[。]事[。]无[。]久[。]彌[。]勤[。]尔[。]勤[。]彌[。]結[。]

尔[。]結[。]氏[。]方[。]乃[。]任[。]違[。]事[。]无[。]久[。]過[。]事[。]无[。]久[。]好[。]酒[。]乃[。]美[。]酒[。]乎[。]
釀^カ成[。]之[。]米[。]給[。]比[。]日[。]々[。]尔[。]給[。]足[。]比[。]月[。]々[。]尔[。]富[。]榮[。]氏[。]子[。]孫[。]
乃[。]彌[。]繼[。]々[。]尔[。]家[。]門[。]乎[。]起[。]左[。]之[。]米[。]給[。]比[。]廣[。]米[。]之[。]米[。]賜[。]比[。]。
妻[。]子[。]奴[。]乎[。]始[。]氏[。]手[。]人[。]丁[。]等[。]尔[。]至[。]留[。]麻[。]低[。]己[。]我[。]垂[。]々[。]有[。]
之[。]米[。]受[。]邪[。]心[。]穢[。]行[。]无[。]久[。]日[。]尔[。]異[。]尔[。]伊[。]蘇[。]之[。]美[。]勤[。]米[。]之[。]
米[。]賜[。]開[。]登[。]禮[。]代[。]乃[。]幣[。]乎[。]捧[。]持[。]氏[。]恐[。]美[。]恐[。]美[。]毛[。]稱[。]辭[。]竟[。]
奉[。]久[。]登[。]白[。]

御年神祭

大年神御年神若年神オホトシノカミニトシノカミニワカトシノカミニ登ト御名ミナ波ハ白シラ斯シ氏ノ稱辭ナニシ竟ニ奉ル
久ク波ハ毎ト羊ハ余ニ春ハル乃ノ初ハジメ余ニ此コノ神カミ棚ダナ余ニ招マツリ奉テ氏ノ朝アサ夕ユフ余ニ御ミ
祭マツル仕シ奉ル久ク平ヘ久ク安ヤス久ク聞キ食ク登ト白シラ如カ此ク仕シ奉ル余ニ依ヨリ氏ノ
手テ肱ヒ余ニ水ミヅ沫ウメ搔カキ垂タレ向ムカ股マ余ニ泥ドロ搔カキ寄ヨセ氏ノ取トリ作ツク年トシ奥オク津ツ御ミ
年トシ乎ハ始ハジメ氏ノ穀コメ等ト百ヒャク乃ノ草クサ木キ余ニ至イタル麻マ低ゲ不ナラ成ス傷ソウ布フ事コト无ナシ
久ク蝗イナムシ及シ種タネ々々乃ノ病ヤマヒ不ア令ラ有セ雨アメ風カゼ時トキ節フシ余ニ協カヒ比ヒ氏ノ農ナリ業ハヒ

乃ノ便ツギ乎ハ失ウシ波ハ受マ守モリ給タマ幸ハハ給タマ閑ヘ登ト恐カシ美シ恐カシ美シ毛モ稱辭ナニシ竟ニ
奉マツル久ク登ト白シラ

鎮火祭

高タカ天マ原ハラ尔ニ神カム留ズリ坐リ皇スミ親ミカミ神カム漏ロ義ギ神カム漏ロ美ミ能ノ命ミコト持モチ氏ノ皇スメ
御ミ孫ミコ命ノミト波ハ豐トヨ葦アシ原ハラ乃ノ水ミツ穗ホ圀クニ乎ハ安ヤス圀クニ登ト平ヘ久ク所シ知シ食セ
登ト天アマ下ノ所シ寄ヨサ奉ル志シ時トキ余ニ事コト寄ヨサ奉ル志シ天アマ都ツ詞リト太ノ詞リト事コト乎ハ
以モ氏ノ申マウ久ク神カム伊イ佐サ奈ナ伎キ伊イ佐サ奈ナ美ミ乃ノ命ミコト妹イモ背セ二フタ柱ハラ嫁ト

繼給ツギタヒテ氏ノ乃ノ八十ヤソク因ノ嶋ノ乃ノ八十ヤソク嶋ノ乎ヲ生給ウミタマヒ比ヒ八ヤ百萬ホヨク

神等カミタチ乎ヲ生給ウミタマヒ比ヒ氏テ麻奈マナ弟子オトゴ乎ニ火結ホヒ神カミ衰ヤ生給ウミタマヒ氏テ美

保斗ホト被燒ヤカエ氏テ石隱イハガクリ坐マシ氏テ夜七ヨハナ夜書ナ七日ヨ吾ハ乎ナ奈見ナミ給タマ

比ヒ曾ソ吾アガ奈ナ妹セ乃ノ命ミコト登ト申給ウシタマヒ比ヒ伎キ此コノ七日ナ乎カ波ハ不足タラズ氏テ

隱坐カクリマスコト事ア奇シ登ト氏テ見ミ所行ソナ須ス時キ火ヒ乎ヲ生給ウミタマヒ氏テ御保斗ミホト乎ヲ

所燒ヤカエ坐マシ伎キ如カ是ルト時キ乎ニ吾アガ名ナ妹セ乃ノ命ミコト能ノ吾ア乎ヲ見給ミタマヒ布フ奈

登ト申ウシ乎ヲ吾ア乎ヲ見ミ阿波アハ多志タシ給タマヒ比ヒ都ツ登ト申給ウシタマヒ氏テ吾アガ名ナ妹セ

乃ノ命ミコト波ハ上津ウハツ因クニ乎ヲ所知シロシメ食ス倍ベ志シ吾ア波ハ下津シタツ因クニ乎ヲ所知シラム

牟ム登ト白シラ氏テ石隱イハガクリ給タマヒ氏テ與ヨ美津ミツ枚坂ヒラサカ乎ニ至坐イタリマシ氏テ所思オモヒ食シ

久ク吾アガ名ナ妹セ命ミコト能ノ所知シロシメ食ス上津ウハツ因クニ乎ニ心惡ココロアレキ子コ乎ヲ生置ウミオキ氏テ

來キ奴ヌ登ト宣ノ氏テ返坐カヘリマシ氏テ更サ生子ラウミタマフ水神ミツノカミ匏ヒサ川カハナ菜ハニ埴ヤマ山ビメ姬メ四ヨ

種物クサノモノ乎ヲ生給ウミタマヒ氏テ此コノ能ノ心惡ココロアレキ子コ乃ノ心荒ココロアラビ鬼ビ曾ソ婆バ水神ミツノカミ匏ヒサ

埴山ハニヤマ姬ビメ川カハナ菜ハニ乎ヲ持モチ氏テ鎮奉ツクマツ禮レ登ト事教コトヲシ悟サト給タマヒ伎キ依ヨリ此コ氏テ

稱辭タヘゴト竟ハ奉マツラク者ハ此里コノサト乎ニ御心ミココロ一速イチハヤ備給ビタマヒ波ハ自登ジト為シ氏テ種クサ

種能幣乎机代ニ置所足テ天津祝詞能フト太祝詞事トゴト
以モ氏ニ稱辭竟奉久登申トラス

祈禱病五章

第一章

他村ニハ無キ病時ノ祈ナリ其

挂毛畏伎吾大神乃大前ニ恐美恐美毛白久コノゴト此頃
四方乃里々尔病起ヒトサハ人多尔惱ウセ失奴留毛數多
有乎此村波之毛吾皇神乃敷坐里登神隨恩賴乎

幸給布里尔之有禮婆平久安久有經事乎尊備喜
備今毛今毛彌益々尔守給幸給氏村乃内尔波諸
病不令有氏子等我心毛安久轉樂久守給幸給登
今日乃生日乃足日尔禮代乃幣帛乎捧持氏恐美
恐美母稱辭竟奉良久乎平安久安久聞食登白

第二章

吾村ニ病有ル時ノ祈ナリ

挂毛畏伎吾大神乃大前尔恐美恐美毛白久コノサト此里

波之毛ハシモ吾大神ワガオホカミ乃鎮坐ツクリマシテ氏神ウヂノカミ隨靈ツグイ辛閑坐シラハハマシ須里スサリ余之オノシ

有禮婆アレバウラヤス浦安ウラヤス伎樂キガク伎里キリ登氏子トウヂノコ乃諸人等喪无ノモロビトラモナク久事クコト

无ナク久ク有經之アリヘシ乎ヲ頃日村內コノゴロムラノウチニ余病起ヤヒオヨリテ氏人多ヒトサハニ余失奴ウセヌ此コ

乎思布余ヲオモフニワガオホカミノウヂコラヲ守給幸給オモリタヒサキハヘタマフ高伎貴タカキタメ

伎恩賴キニタノユ乎被里氏ヲカフリテシ之コノヤマヒハ此病波可止ヤムベシト登恐自物思議カレコジモノオモヒハカリテ

今日乃生日ケフノイクヒ乃足日ノタルヒ余禮代ニキヤビロ乃幣乎捧持ニタラフサゲモチテ氏廣ヒロク久厚クアツ

久稱辭竟奉狀クタヘゴトヲヘツルアリセヲ乎大神ヲオホカミノ乃御心ニオモヒ余平久安ニタヒラクヤスラケク久聞召クキコシメセト

白如此仕奉ヲスルカクツカヘマツル余依ニヨリ氏從今後テイニヨリノチハ波村中ハムラノウチニ余此病保毘許ニコノヤヒホビコ

留事无ルコトナク久惱牟物クナヤムモノ乎婆速バオスヤケク久療給クイヤシタマ比直給ヒノホシタマ比堅石ヒカキハ

余常石キトキハ余命長ニイナチナガク久夜守日守クヨノモリヒノモリ余守幸給ニモリサキハヘタマヘ閉登恐トカシコミカシコ

美毛ミモ白ヲス。

第三章

那病有ナ病有時請アル時大那牟遲神少名毘古ナル神少名毘古

挂毛カケクモ畏カシ伎大那牟遲大神キオホナムヂノオホカミ少名毘古シノナヒコ那大神ナノオホカミ二柱大

神乃大前カミノオホマヘ余恐ニカシコミ美毛ミモ白ヲサク比日四方ヒノヨモヤモ乃里ノサト

里ガトニ。ヤマヒヨリ病起ヒトリハ人多ナヤミテウセ惱ヌル失モ留スカナカラヌコトヲ。ヒト不少事ヒト人々

甚イタクナゲキウレヒテ。モロトモ久ニハカリゴキ歎愁テ。イニヘノ諸共ノリノ議マニク。オホカミタチ甚智古乃法乃任大神等

招奉齋奉ヲ。フキマリ。イハヒマリ氏テ。カラヒトグサヲ蒼生アハレミタマフ。ヒロキカツキ哀給ミタマノフコヲ。コヒ布ヒロキカツキ廣ミタマノフコヲ。コヒ厚ミタマノフコヲ。コヒ恩賴ミタマノフコヲ。コヒ乞ミタマノフコヲ。コヒ

祈奉ノミマツラム年登ト爲レ氏テ。クフ今日ノ乃イクル生日ノ乃タル足日ニ。エヤビロノ禮代ノ幣ミタマ

捧持サゲモチ氏テ。オホカミ乃オホマヘ大神ヲ。カシコ大前ヲ。カシコ乎カシコ恐カシコ美モ。タヘ恐モ。タヘ稱辭コトヲ。ハマツラク竟奉久登ト

白マラス。カクツカヘマツル如此仕奉事ヲ。タミラケク乎ヤスラケク。キコシメシ平安テ。カミヨ聞召ノ神代ハジメ乃トキ初トキ

大神等オホカミタチ乃ノ。モロクノ諸ヤマヒヨ乃ヲサムル。タリノリト。マシナヒノリ病ヲ治留マシナヒノリ藥方登禁厭方登定給ヲ。サダメタマ

比ヒ氏テ。イニ今世ニ至迄イタルニテ。アラヒトグサ青人草ヲ。タスケタマ助給比救給布恩賴ヲ。ミタマノフコ

神隨カミナガラ。チハヘシ幸坐氏。ヤミコヤ病臥世流モロビトラ諸人等ヲ。ナホシタマ直給比瘡給比撫ヒ。ナゲ

給タマ比ヒ。スグミタマヘト。カシコ惠給登恐カシコ美カシコ恐モ。マラス美モ。マラス白マラス

第四章 山城 綴 八坂神社 尾張國津島神社

挂毛カケモノ畏カシコ伎キ健速須佐之男大神サノヲノオホカミ乃オホマヘ大前ニ。カシコ氏カシコ畏カシコ美カシコ畏カシコ

毛モ白マラス久コノ此頃ゴロ。コノ此村中アラノウチニ病有ヤヒアリ氏テ人多ヒトサハ身失ニ。ウセ奴ヌ。カレ故是コト

乎ヲ以テ氏アラ村人等進ボトラ。ス。ム毛シラニ。シツクモ不知退シラニ。オモヒ不知思歎テ。モロトキ諸共ニ

相議アガカリ氏テアガオホカニノ乃ノ高タカ伎キ貴タトキ恩ミタ賴ノ乎ヲ乞コ禰ヒ疑ネ奉ギ牟ツラ登ム

為ミ氏テケフノ乃ノ生日イクヒ乃ノ足タル日ヒ余ニ大神オホカミ乎ヲ此コノ神ヒモ離ロギ余ニ坐マ奉セ

利リ氏テカシヨミ恐カシヨ美ミ毛モ稱タヘ辭ゴト竟フヘ奉ツ良ラ久ク乎ヲ神カム隨カ聞カラ召キコ登シ白ト

如此カ仕ツカ奉ヘ余ニ依ヨリ氏テ遠ト津ホツ神カミ代ヨ余ニ大神オホカミ乃ノ吉キ備ビン固クニ余ニ幸イ

行マシ之シ時トキ蘇ソ民ミン將シヤ來ウライ及ニ其タ妻ソ子ツマ乎ヲ救スク給ヒタマ比ヒ助タ給スケ幣タマ流ヘ事ル

乃ノ如ゴト久ク今イマ毛モ惱ナヤム牟ム里サト人ビト等ラ乎ヲ立タチ所トコロ余ニ瘡イヤシ給タマ比ヒ直ナホシ給タマ閉メ

登ト大オホ前マヘ余ニ種クサ種ノ乃ノ幣ヒラ乎ヲ机ツク代エビロ余ニ置オキ足タラ波ハ之レ氏テ恐カシヨ美ミ恐カシヨ

美ミ母モ稱タヘ辭ゴト竟フヘ奉ツ久ク登ト白ラス

第五章 願主時ヨリ頼ミ奉

挂ツ毛モ畏オソ伎キ吾オ皇ホ神カミ乃ノ大オホ前マヘ余ニ畏オソ美ミ畏オソ母モ白ク久ク某ソレ固クニ

某ソレ郡ノ某ソレ里ノ人サト何ナニ某ソレ伊イ某ソレ病ヤマ有アリ氏テ月ツキ日ヒ佐サ麻マ禰ネ久ク病ヤ臥コヤ

世セ利リ故カレ是コ乎ヲ以モテ祭マツル主ナメ名ナ余ニ事コト議ハカリ氏テ雖カシヨ畏オソ吾オ皇ホ神カミ乃ノ大オホ

前マヘ乎ヲ齋イハヒ奉ツリ氏テ蒼アヲ生ヒト乎サ惠メク給ミタマ布フ恩ミタマ賴ノ乎ヲ乞コ祈ヒ奉ノ牟ム登ト為シ

氏テ今ケ日フ乃ノ吉ヨキ日ヒ乃ノ吉ヨキ時トキ余ニ名ナ余ニ禮シヤ代ジロ乃ノ幣ヒ乎ヲ捧サゲ持モチ氏テ

恐美恐美毛稱辭竟奉良之牟挂毛畏伎皇神此狀
乎平久安久聞召氏何某我惱牟病乎速尔直給瘡
給比堅磐尔常磐尔命長久夜守日守尔守給幸給
登畏美畏美母白

障神祭

大八衢尔湯津磐村乃如久塞坐皇神等乃大前尔
恐美恐美母白久八衢比古神八衢比賣神久那斗

神登御名波白氏稱辭竟奉久波根圀底圀從里鹿
備疎備來牟物尔相率相口會給事無氏下行者下
乎守理上往者上乎守理夜之守日之守尔守給幸
給登禮代乃幣乎八取乃几尔置所足氏進流宇豆
乃幣乎平氣久聞食氏大八衢尔湯津磐村之如久
塞坐氏此某村尔波諸乃病及種々乃枉事无久神
隨守幸給登恐美恐美毛稱辭竟奉久登白

祈武運長久

諸侯大夫士白ス為ナリ

挂毛畏伎。吾大神乃大前介。畏美畏美母白久。何某

我物部乃道乎神隨守給比幸給比。天皇我朝廷

乃敷給比行給幣流御法乎之過犯事无久正伎直

伎誠乃心以氏緩怠事无久仕奉氏大王乃醜乃御

楯食圀乃大伎守登丈夫乃清伎其名乎外圀麻傳

所聞令滿給比賴氏所使流臣等乎毛己我乖々

不令有邪穢心无久彌務米令務給比領氏治流公

民介至流麻傳夜守日守介守幸給閉登禮代乃幣

乎捧持氏恐美恐美毛稱辭竟奉久登白

同陪臣ノ

挂毛畏伎。吾大神乃大前介。恐美恐美母白久。某圀

某郡某里乃武士何某乎吾大神廣久厚久守給幸

給比氏明伎淨伎直伎正伎心以氏其君介仕奉流

事共乎无緩事无怠事彌務々彌結々氏武士乃健
伎其名乎天下令揚給比負持都祖乃名乎无穢
事无落事勤務氏家門乎令起給比令廣給比妻子
奴等余至流麻低平久安久守給幸給閉登禮代乃
幣捧持氏恐々毛稱辭竟奉久登白

祈家内安全

挂毛恐伎吾大神乃大前余恐美恐美母白久某因

某郡某里人何某伊吾大神乃恩賴余依其家乃

彌益々余立榮事乎祈白余登為氏祭主名余禮

代乃幣乎捧持氏恐美恐美母稱辭竟奉良之此

狀乎平久安久聞召氏何某我家内余波八十枉津

日乃枉事不令有產業乎无緩事无怠事勤美務米

其家門乎起佐之米給比廣米之米給比堅石余

常石余命長久子孫乃八十連屬余至流麻低茂之

八桑枝乃如久ヤグハエノゴトシ。タチサカエシメタマヒ。アヤチオカスコトノアラム乎婆。令立榮給比。過犯須事乃有牟乎婆。見直聞直坐三ナホレキ、ナホレマシテ。ヨノモリロノモリニ。モリタマヒ。サスヘタマヘト。夜乃守日乃守比。守給比。幸給比。恐カレコニカレコニモマラス。恐美母白

祈平産

挂毛畏伎吾大神乃大前ハ恐美恐美毛白久某某某里人何某我妻何某妊氏今胎月イ。ハラニテ。イマウムカツキニ。アタレ当禮流乎ル。フ。ガ。オホカニ吾大神乃御靈給比。比氏テ。タニククヤスラケク。コウマシメタマハ平久安久子令産給波

牟事乎ムコトヲ。ノ。ニ。ラサム祈白牟登ト爲レ氏テ。祭主名ニ。キヤジロノミダラフサグモチ礼代乃幣平捧持ニ。キヤジロノミダラフサグモチ恐美恐美母テ。カレコニカレコニモ。タヘゴトヲヘマツ稱辭竟奉良之牟挂毛畏伎大神此テ。カレコニカレコニモ。タヘゴトヲヘマツ状乎アリサヲ。タシラケクヤスラケクキレメレ平安久聞召氏。何某乎ヲ。ヒロクアツク。チダマヒメタタヒ廣久厚久ヲ。ヒロクアツク。チダマヒメタタヒ撫給惠給ヲ。ヒロクアツク。チダマヒメタタヒ毛无久事无久令産給テ。モ。ナクコトナク。ウマシメタマヒ。ウニ比産氏乃後毛平久安久テ。モ。ナクコトナク。ウマシメタマヒ。ウニ令在給アラセタマヘト。カレコニカレコニモマラス。閉登恐美恐美母白アラセタマヘト。カレコニカレコニモマラス。

同報賽

挂毛畏伎吾大神乃大前ハ恐美恐美毛白久先ハ先ハ

何某^{我ガツマ}妻何某^{我ガハラミテウカツキニ}妊^氏臨月^{余ニ}當^礼里^リ之^{トキ}時^{ワガオホカニ}吾大神
乃^{ミタノクニニ}恩賴^{余ニ}依^{氏テ}平久^{ヤスケク}安久^{コウ}子^{ウマセタマヘト}令^{ノミ}產^{ラシキ}給^{サレ}登^ヲ祈^フ白^ル伎^{コト}然^ヲ
祈^{ノミ}白^{ラシ}之^シ毛^モ驗^ル久^ク毛^モ无^ク事^{コト}无^ク產^{ウマ}之^シ衆^メ給^{タマ}幣^ヘ流^ル事^{コト}乎^ヲ
尊^{タト}備^ビ喜^{ウレ}備^ビ謝^{ヨロヒ}乃^ノ幣^ヒ乎^ヲ捧^{サジ}持^{モチ}氏^テ廣^{ヒロ}久^ク厚^ク稱^{タマヘ}辭^{ゴト}竟^フ奉^{マツ}留^ル
狀^{アリ}乎^セ平^{ヤス}久^{ケク}安^{ヤス}久^{ケク}聞^キ召^{コシメ}登^ト恐^{カレ}々^ニ毛^モ白^{マラス}

初宮祭

挂^{オホ}毛^{カニ}畏^{オホ}伎^{カニ}吾大神^{オホカニ}乃^ノ大前^{オホマヘ}余^ニ恐^{オホ}美^{カニ}恐^{カニ}美^{カニ}毛^モ白^{マラス}久^ク大神^{オホカニ}

乃^ノ氏^{ウヂ}子^ゴ何某^{我ガマナゴ}眞兒^{イホホカニ}何某^ノ御靈^{ミタマ}賜^{タマ}利^リ氏^テ生^{アレ}
出^{イデ}之^シ從^{ヨリ}利^リ百^ヒ日^ニ餘^{ナリ}十^{カレ}日^コ余^ヲ成^{モテ}奴^ケ彼^ノ是^ヲ乎^ヲ以^テ今^ケ日^フ乃^ノ生^{イク}
日^ヒ乃^ノ足^{タル}日^ヒ余^ニ初^{ハジメ}氏^テ大神^{オホカニ}乃^ノ大前^{オホマヘ}余^ニ參^{マデ}出^デ氏^テ拜^ヲ奉^ヲ狀^ヲ乎^ヲ
平^{ヤス}久^{ケク}安^{ヤス}久^{ケク}聞^キ召^{コシメ}登^ト白^{マラス}如^カ此^ク仕^ツ奉^ヘ余^ニ依^{ヨリ}氏^テ今^モ今^モ毛^モ今^モ此^{コノ}
嬰^{ミドリ}兒^ゴ乎^ヲ愛^{イツク}美^ニ給^{タマ}比^ヒ日^ヒ足^{タレ}賜^{タマ}氏^テ諸^{モロク}乃^ノ病^{ヤマヒ}不^{アラ}令^ズ有^ス須^ス久^ク須^ク
久^ク登^ト生^{オヒ}立^{タチ}榮^{サカ}氏^テ大神^{オホカニ}乃^ノ氏^{ウヂ}子^ゴ天^{アマ}皇^{ミコト}乃^ノ公^{オホ}民^{ミタカラト}登^{モリ}守^{タマ}給^{タマ}幸^{サマシ}
給^{タマ}登^ト恐^{カレ}美^ニ恐^{カレ}美^ニ毛^モ白^{マラス}

新始祭

挂毛畏 伎手置帆負命彦狹知命乃大前オホマヘニカシミカレコ畏美畏

美毛白久此度木工姓名我ガコノカシ此神乃御舍ミアラカヲ乎殿或稱殿

人御家御家門其餘ナラバ殿餘餘餘門ノ名類ヲ白リス今日乃生日乃足

日ヒ余造初牟登須ス如此不容易事波吾皇神等乃廣

伎厚キアツキ伎御惠ニ余依ヨリ氏シ之平ヤス久安ク功成竟ム牟登ト恩議

氏テ禮代レ乃幣乎捧持サゲ氏テ恐美恐美毛稱辭竟奉ム久登

白故如此之状乎皇神乃御心ニ余神隨聞召シ氏テ今日

從利ヨリ日ヒ々バ余勞務ニ牟流ル木工乃道チ余恩賴ニ乎幸ハ閑坐

氏テ思慮ハ乃悟リ深ク久緩急事无ク久勤ク利リ令務給ビ打都

墨繩ス乃法ノ乃任違過事无ク久之レ氏テ速ク令功卒給ト登

恐美恐美毛白

柱立

挂毛恐カレ伎手置帆負命彦狹知命乃大前オホマヘニカシミカレコ畏美畏

美毛ミモ白シラ久ク木キ工コ何ナニ某ニヤ我ガ此コノ神カミ宮ミヤ同上ドウジョウニ作ツク流ル業ノ乎ヲ大オホ神カミ

等タチ乃ノ廣ヒロ伎キ厚アツ伎キ御ミ惠メ余ニ依ヨリ氏テ打ウ都ツ墨ス繩ミ毛モ執ト留ル手テ斧ヲ

毛モ無ム違チガフ事コト無ム過コト事コト柱ハシラ桁ケ梁ベ乎ヲ始ハジメ其ソノ外ホカ乃ノ物モノ等トモ乎ヲ可アル有ヘキ

狀サマ余ニ作ツク訖リ奴ヌ故カレ是コト以モ氏テ今ケ日フ乃ノ生イク日ヒ乃ノ足タル日ヒ余ニ齋イミ柱シラ

建タテ始シ牟ム止ト為シ氏テ大オホ前マヘ余ニ大オホ御ミ酒キ居ス竝ナベ稱タメ辭ヘ竟ツル奉カリ狀サマ乎ヲ

平タラ久ク安ヤス久ク聞キ食シ氏テ今イマ毛モ往ユク前サキ毛モ彌イ益ヤ々ク余ニ恩ミタ賴ケ乎ヲ幸チハ

閉ヘ坐マシ氏テ不コト事ア過ヤマ令タス建タテ訖ラ給ヘ閉ト登カ恐ヒ美ミ恐カシ美ミ毛モ白マラス

棟祭

挂カケ毛モ畏カシ伎キ手タ置オキ帆ホ負オヒ命シ彦リ狹ク知シ命コト乃ノ大オホ前マヘ余ニ恐カシ美ミ恐カシ

美ミ母モ白シラ久ク先サキ余ニ木キ工コ姓ナ名ナ我ガ此コノ大オホ宮ミヤ乎ヲ同上ドウジョウニ造ツク始シ流ル

時トキ余ニ祈ノシ申シ之シ久ク如カ此コト不タ容ヤ易ス事コト乎ヲ婆バ吾ワ皇カ神ス等メ守チ給モリ

助タ給タ氏テ法ノリ乃ニ任ニ平タラ久ク安ヤス久ク事コト成ナシ竟シ之シ米メ給タ閉ヘ登ト祈ノシ白シラ

伎キ然サル乎ヲ祈ノシ白シラ之シ毛モ驗シル久ク無ム違チガフ事コト無ム過コト事コト令ツク造クリ竟ラ給ヘ留ル

事コト乎ヲ貴タフト美ミ喜ウレシ美ミ今ケ日フ乃ノ生イク日ヒ乃ノ足タル日ヒ余ニ謝ヨロヒ乃ノ禮ヤシ代シ止ト

と字より人境は其の式に事なるは同作文
に據るは其の事なるは同母を以て
たりと事なる自己の如き事なるは
に其の事なるは其の事なるは
以て其の事なるは其の事なるは
程に事なるは其の事なるは
如事なるは其の事なるは
事なるは其の事なるは

其の事なるは其の事なるは
大畷小畷亦生立一棟瓦の板平
研之實は其の事なるは

武事なるは其の事なるは

是記 忠信

男信一書

此一書を各祭典略するも又その記以傳
た厚なり之を老のきふゆえより
しりしを記しけり人のしりしを記し
しりしを記しけり人のしりしを記し

明治二年二月

参河國一宮砥鹿社社主從五位下藤原朝臣宣隆

草鹿砥近江守撰
岡本壹岐守訂

祭文例續篇 嗣出

氣吹舎塾藏版

彫工 東京神田木邨嘉平房義
小柳町三丁目

明治十七年一月十六日御届
全十七年二月十五日出版

定價金五十錢

藤原朝臣宣隆撰

原版主 氣吹舍塾

大阪府平民

反刻出版人 石井昇平

西區本町三番町卅五番地

